

東村山第四中学校 教育目標

- 自ら考え、判断し、進んで学ぶ生徒
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと奉仕の心がある生徒
- 豊かな情操を育て、健やかな心と身体を培う生徒

第1学年だより

緑の風

「東村山市いのちと
こころの教育週間」
特別号

命の大切さを考えて

紙芝居より高まる意識

【東村山第四中二一学年】「東村山市いのちとこころの教育週間」最終日にあたる二月七日(金)の三校時、人権教育講演会が開催された。東村山市図書館子ども本の読み聞かせや、紙芝居を上演していただいた。各学年の教室

人権教育講演会



七日、各級の教室で、人権教育講演会が行われ、紙芝居の上演を鑑賞する生徒たち

生徒の感想

●紙芝居について

僕が紙芝居を観たのは、初めてでした。紙芝居の絵と、原稿の読み聞かせが、とても面白かったです。旗の演劇も、とても面白かったです。旗の演劇も、とても面白かったです。旗の演劇も、とても面白かったです。

●「国旗をかがけて」について

子ども二人が、国旗をかがけて、戦場へ行って、戦死した。その姿が、とても感動的でした。国旗をかがけて、戦場へ行って、戦死した。その姿が、とても感動的でした。

も大事にしたい。お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、みんな、命を大切にしてください。戦争は、とても残酷なことです。戦争は、とても残酷なことです。戦争は、とても残酷なことです。

令和元年度
「東村山市いのちとこころの教育週間」
東村山第四中学校・第1学年の取組み

- 2月3日(月) 全校朝会
「いのちとこころ」についての校長講話
- 2月6日(木) 道徳公開講座
『受け継がれる博愛の精神～ロシア兵墓地の清掃～』
- 2月8日(金) 人権教育講演会

紙芝居の上演を真剣に観る生徒たち



今日の授業は、とても面白かったです。紙芝居の上演を鑑賞する生徒たち

